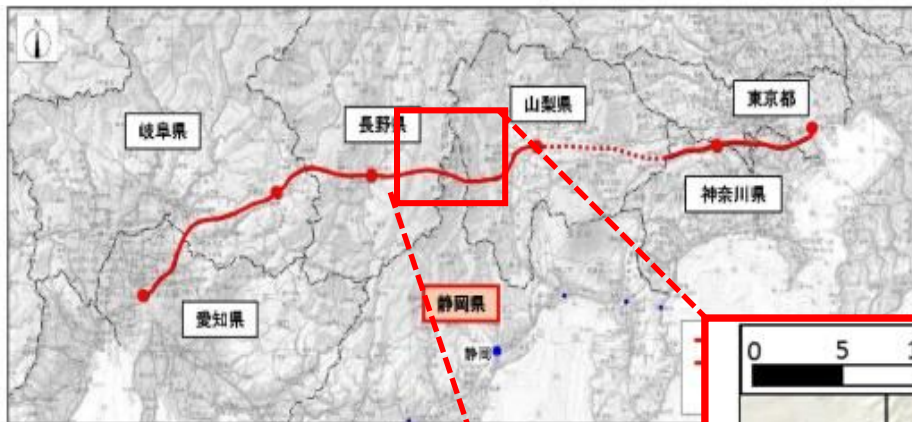


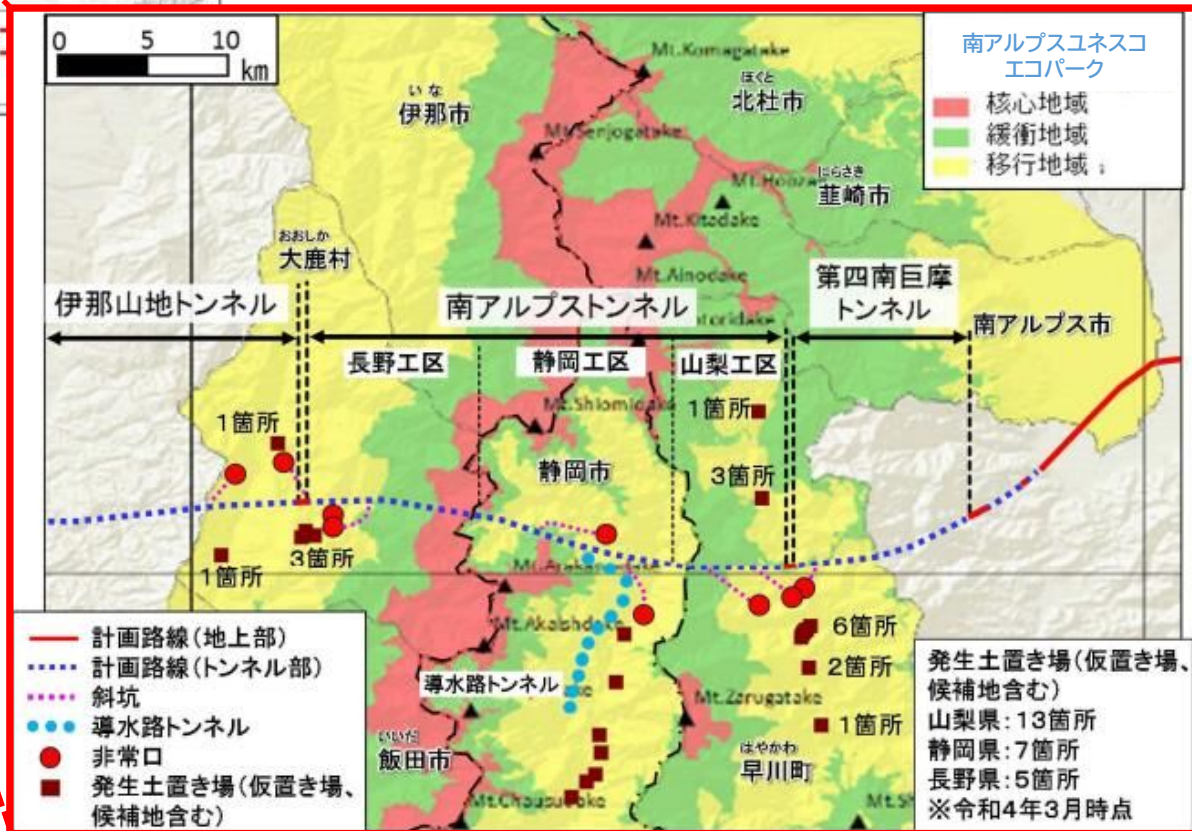
資料1 リニア中央新幹線 計画路線図

中央新幹線の路線(品川・名古屋間)



出典：第26回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議(2023.9.26)資料2 1-1 静岡市加筆(赤枠)

南アルプスユネスコエコパーク内での施設計画



出典：第26回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議(2023.9.26)資料2 1-8 静岡市加筆(青字)

資料2 南アルプスの生物多様性

氷河期の生き残り生物の南限
希少かつ極めて脆弱性が高い



他の生物が生き残れない環境下で、
競合者がいないため何とか生き残っている

<南アルプスの自然環境の特徴>

- ・キタダケソウを始めとして貴重な高山植物の宝庫である
- ・ハイマツ群落や特別天然記念物のライチョウの生息地として、世界の南限に位置する
- ・これら南限に位置するものは、地球規模の環境・気候変動による直接的・間接的な影響に対する感度が高く、その個体群の存続が危ぶまれているとともに、その保全が重要なものとなっている
- ・これまで様々な環境に応じて多種多様な植物を育み、そこに生息する多様な動物たちの生息基盤となっている

出典：第26回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議(2023.9.26)資料2 1-5



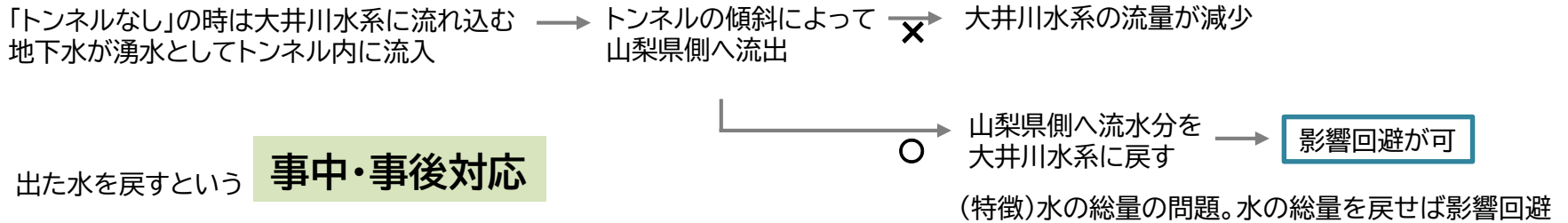
タカネマンテマ



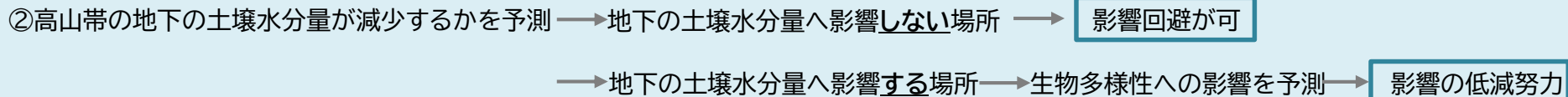
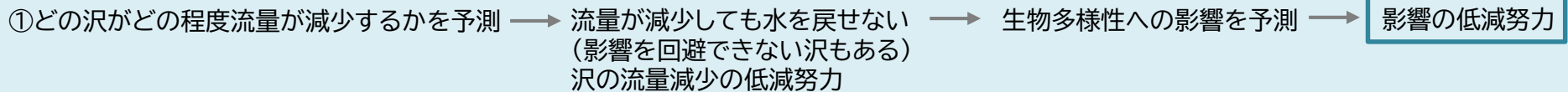
ライチョウ

資料3 「水資源への影響」より「生物多様性への影響」の方が対処の困難性が高い

1. 水資源への影響 (総流量という全体への影響の問題)



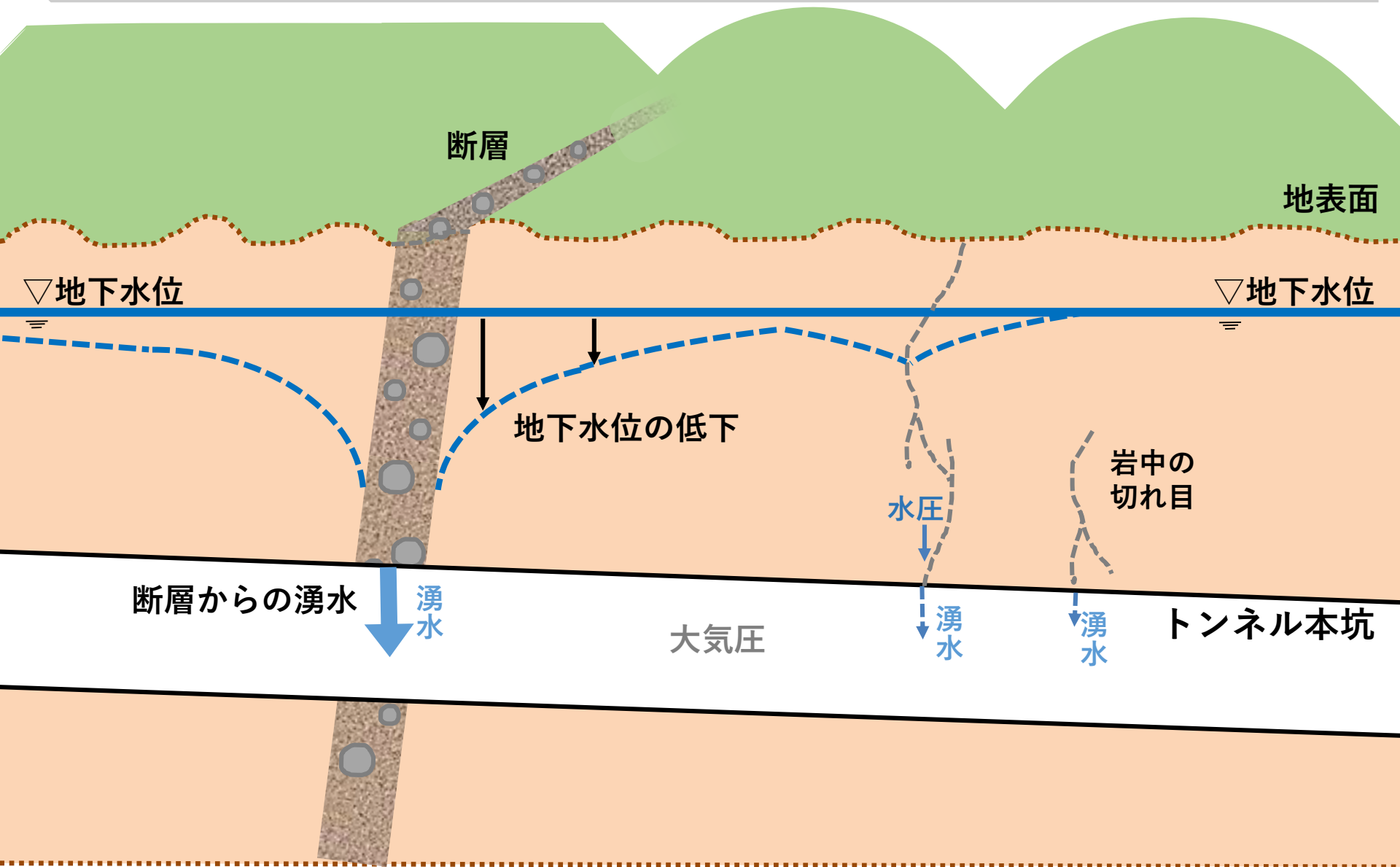
2. 生物多様性への影響 (「様々な個別の場所の水分量の変化」→「生物への影響」という2段階の個別変化の影響の問題)



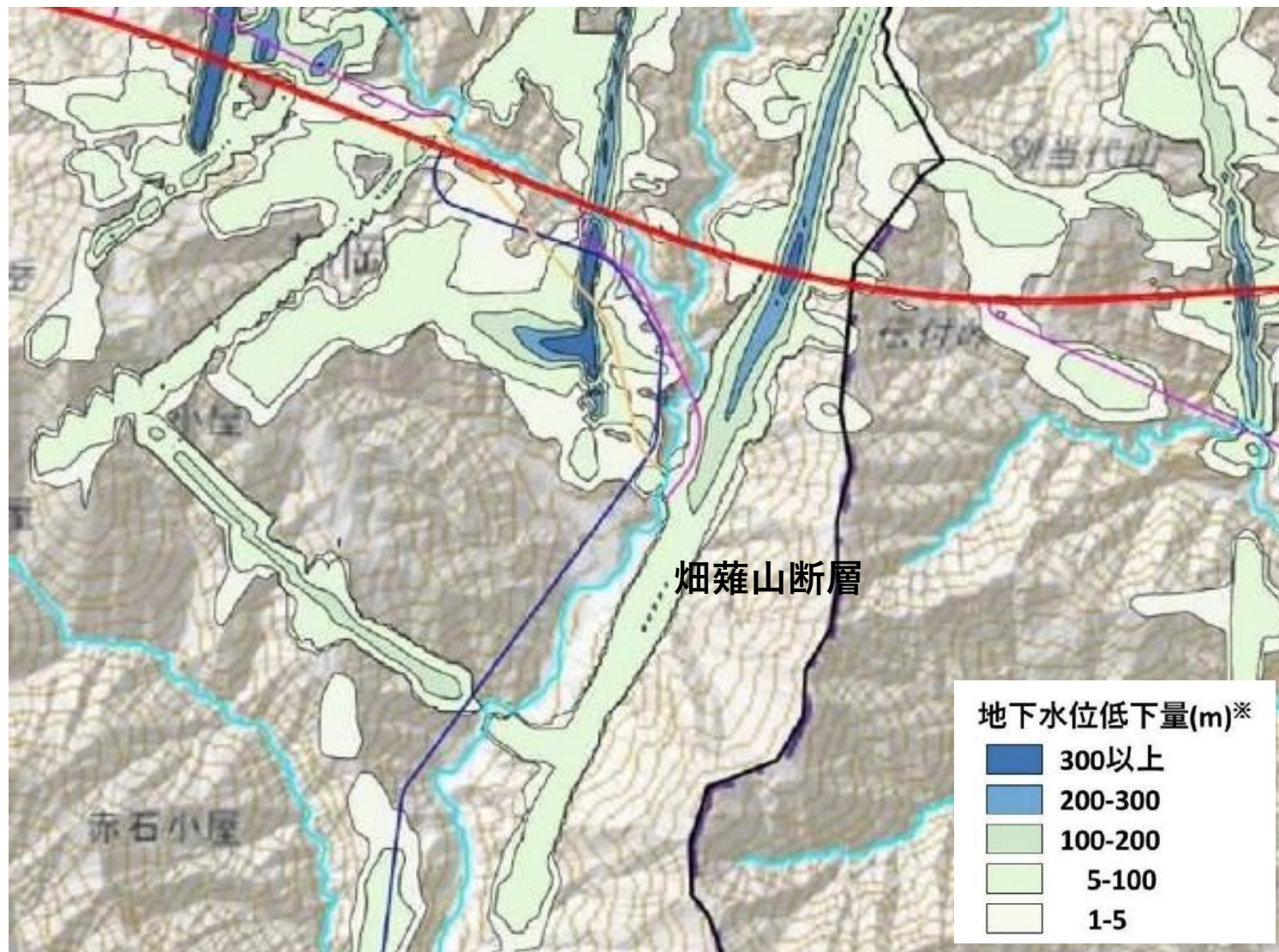
水が減った後では間に合わない

事前・事中共対応が重要

資料4 断層付近における地下水位の低下



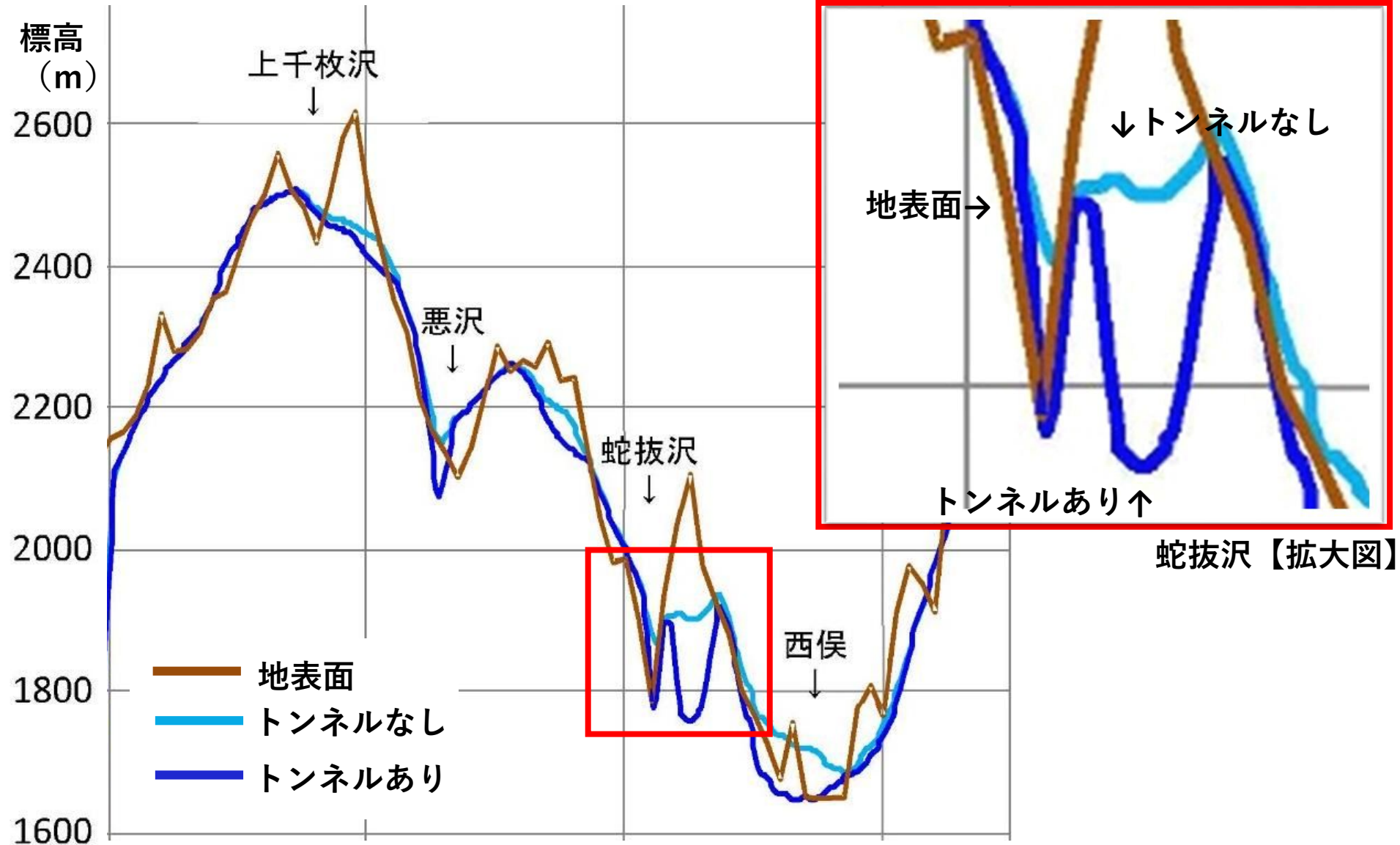
資料5 GETFLOWS (静岡市モデル) 地下水位低下量平面図



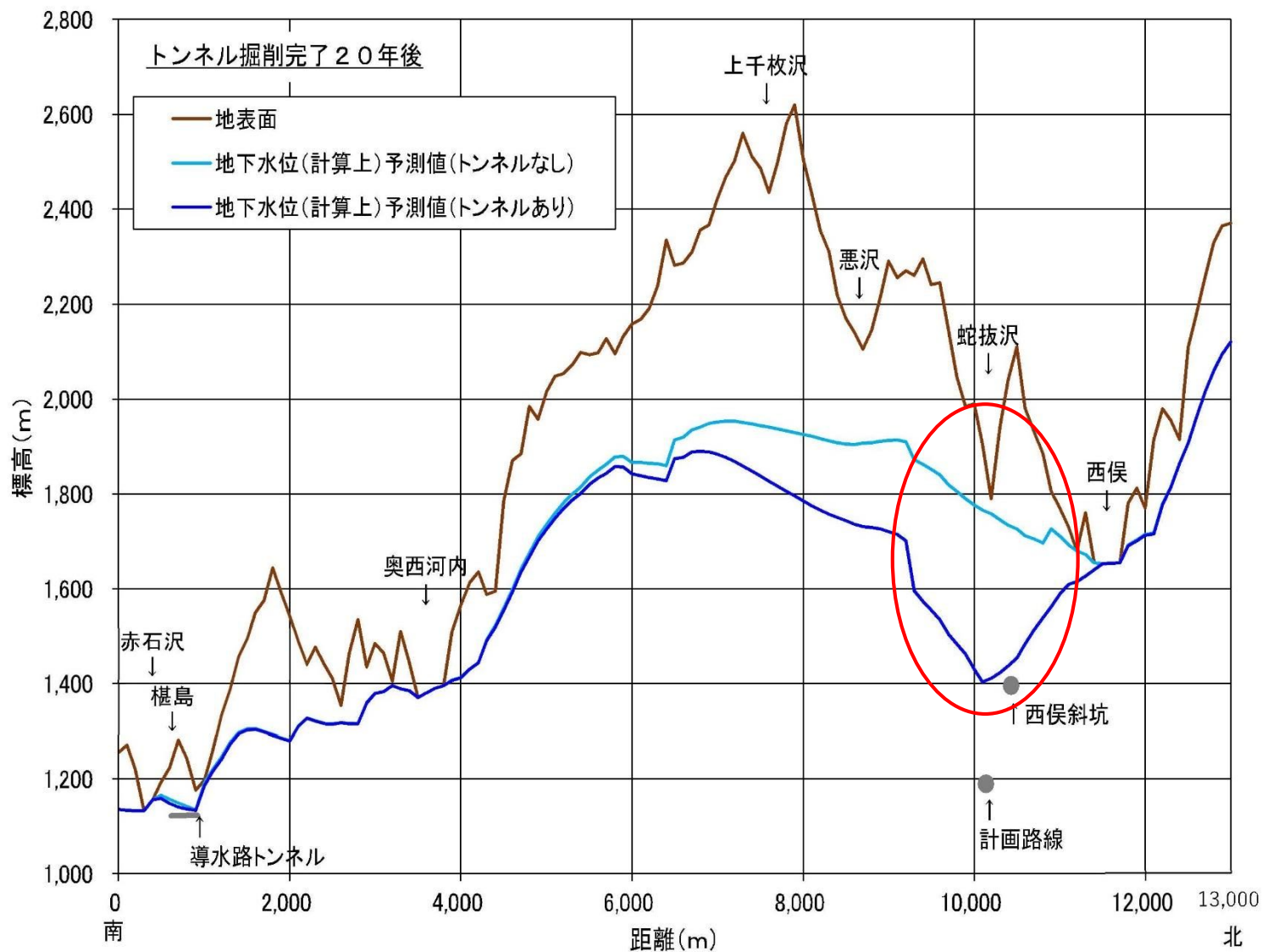
トンネル
本坑

大井川↑

資料6 GETFLOWS (静岡市モデル) 地下水位低下量縦断図



資料7 JR東海モデル 地下水位低下予測縦断面図（トンネル掘削完了20年後）



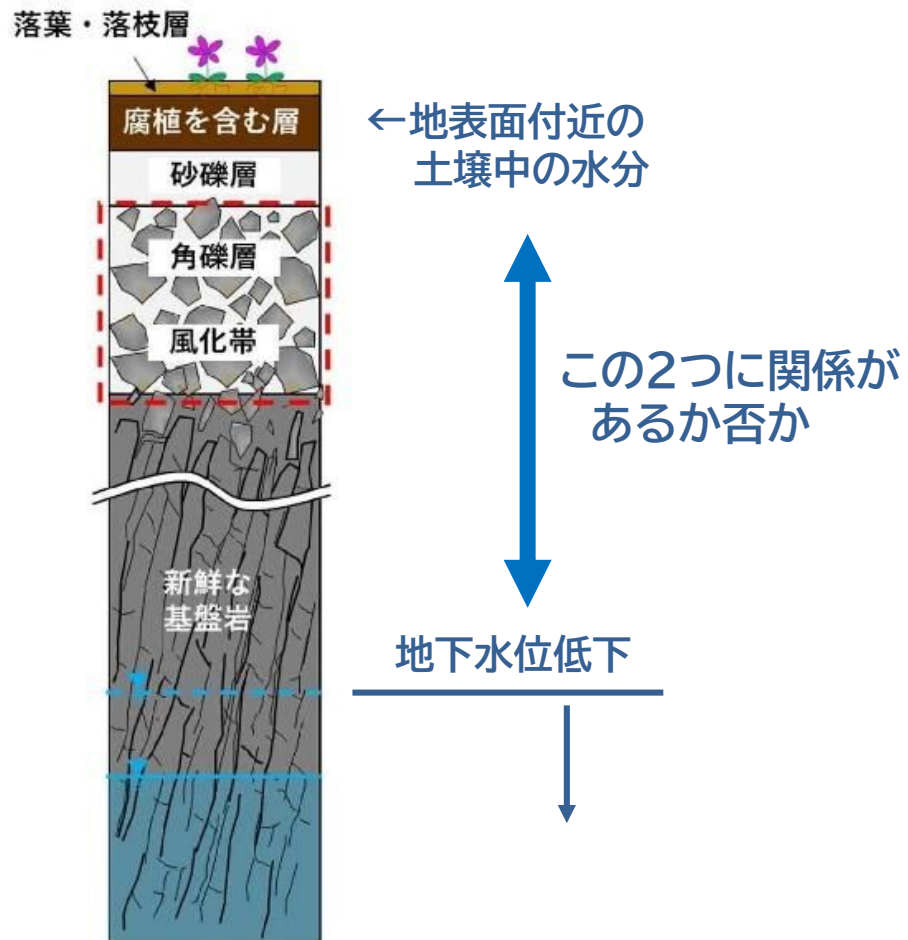
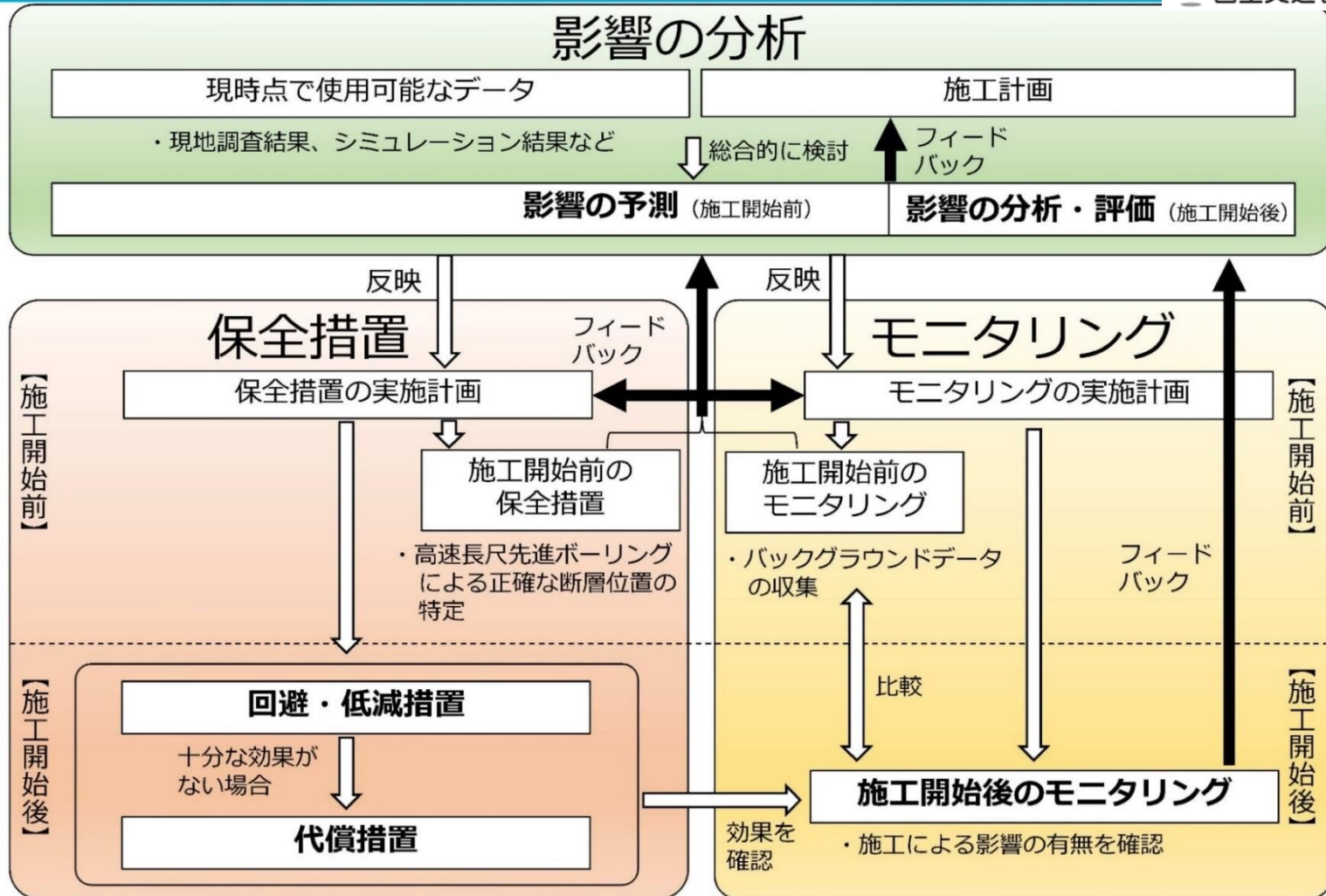
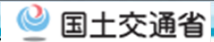


図 12 想定される地質や地下水の帯水状況（稜線部）

資料9 影響の分析・保全措置・モニタリング等の共通の考え方（順応的管理）：国土交通省

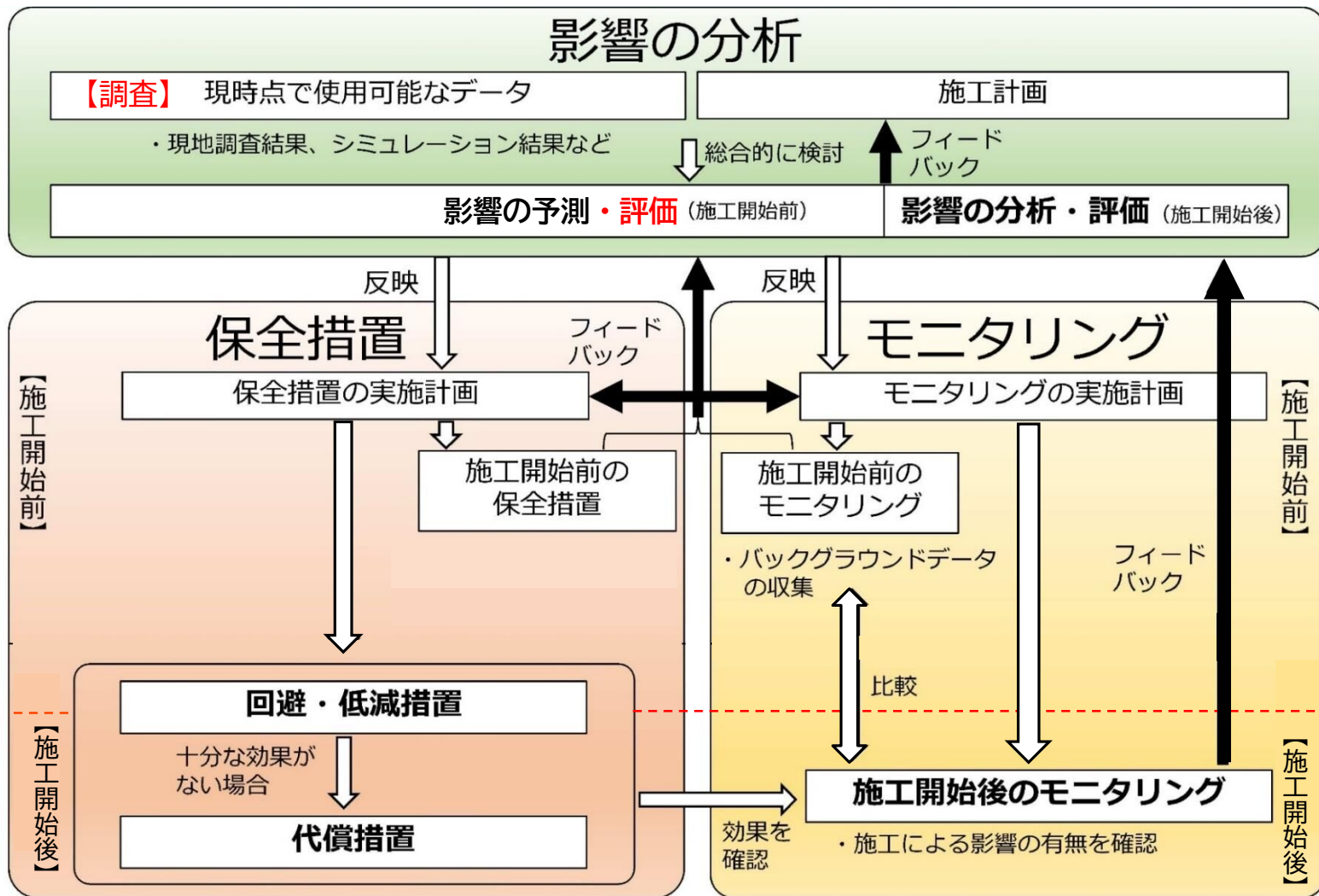
影響の分析・保全措置・モニタリング等の共通の考え方（順応的管理） 資料1-2別紙1



※1 順応的管理：不確実性の高いものに対し、評価（現状把握）とフィードバックを繰り返し、状況に合わせて適宜追加の対策を講じることに主眼を置いたリスク管理の考え方。（「道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」における環境保全のための取り組みに関する事例集（平成27年度版）」、国土技術政策総合研究所）

※2 ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションや第三者によるフォローアップを適切に実施することが重要。

資料10 影響の分析・保全措置・モニタリング等の共通の考え方（順応的管理）



- ※ 1 順応的管理：不確実性の高いものに対し、評価（現状把握）とフィードバックを繰り返し、状況に合わせて適宜追加の対策を講じることに主眼を置いたリスク管理の考え方。
（「道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」における環境保全のための取り組みに関する事例集（平成27年度版）」、国土技術政策総合研究所）
- ※ 2 ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションや第三者によるフォローアップを適切に実施することが重要。